



平成二十七年

遷座後、初の正月

時折雪の舞う悪天候となるも、多くの参拝者で賑わう

改修を終え、麗しく整えられた本殿で迎える最初の正月、悪天候となった三箇日の初詣者は少ないように感じられたが、翌週末の三連休には好天重なり、予想を超える多くの参拝者で賑わった。

平成二十七年「乙未」、皇紀二千六百七十五年は、新しき年の初めを告げる大太鼓が境内に鳴り響くと同時に神門が開かれ、初詣の人々の波が怒涛の如く仮本殿に広がった。柏手を打ち、両手を合わせ、宗像大神に



平成ノ大造営

時満ちて道ひらく

余滴

我が国のお正月は、本来、新しい年の歳神様(トシの神様)を迎える神事であった。門松

はその歳神様を祭るための神籠であり、床の間に飾る鏡餅や、正月の注連縄なども、同様の神座や依代である。お迎えした歳神様は人々へ新しい年の「靈魂」を授けその年の招福をもたらし、そのお力をいただく事がトシダマ(年魂・年玉)であり現在の「お年玉」の原義である▼お正月の定番料理としておせちと雑煮を食する風習が全国的に見受けられるが、本来おせちとは年越し膳のことであり、その年にお迎えした歳神様にまぜお供えし、そのお下がりを家族・親族と共に頂くのがおせち(お節)である。共に食する事により一年間の家族の無病息災を祈る一つの儀式である。正月に親族が集い歳神様のお力を頂戴しその後、家族そろって氏神様にお参りする。一年間の家族の幸せを願う我が国のすばらしき伝統文化である▼毎年多くの参拝者、老若男女がひたむきに神前に祈りを捧げる姿を目にする度に、この古き良き慣習を絶やさず、後世へ伝承していかなければならないと思う。(中)

神具・装束・授与品



装束店 〒600-8503 京都市下京区油小路通六条上る
フリーダイヤル 0120-075-980
福岡店 〒812-0068 福岡市東区社領1-12-10-401
フリーダイヤル 0120-055-092
授与品店 〒601-8348 京都市南区吉祥院観音堂町23
フリーダイヤル 0120-075-820

木組の家 匠の技

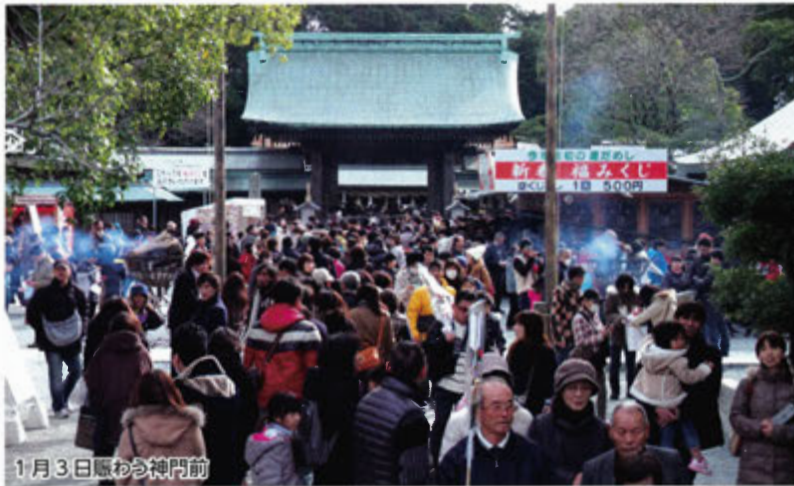
総合建築業 株式会社 弘江組

〒811-3406 福岡県宗像市稲元4丁目20 電話(0940)32-2567

祈る参拝者の熱気が境内に満ち溢れた。

元旦午前零時には、恒例の九州旅客鉄道株式会社の新一年一番祈願祭が斎行され、引き続き各団体参拝の新年祈願が執り行われた。

儀式殿においては家内安全や厄除け、祈願殿では交通安全祈願祭が次々に斎行され、本殿前、祈願殿内、福



1月3日 賑わう神門前

みくじの各社頭では、神職と巫女、巫女見習七十名が応対、神酒授与所ではノンアルコールの甘酒が振る舞われ、年明けの賑わいもピークに達した。

午前九時には辺津宮において元旦祭が、高向宮司以下神職の奉仕により斎行され、沖津宮と中津宮でも同様に執り行われており、

三宮それぞれで皇室の弥栄、国民の安泰が祈念された。

時折雪や雨の舞う悪天候ではあったが、午前八時頃には一時天気も回復し、初日を浴びた本殿が輝きを放ち神々しく参拝者等を迎えていた。

午前九時過ぎ頃には大駐車場も満車、参道はゆつくりとした長い列がつづき、各授与所の御社頭も縁起物や御神札・御守



大晦日、年明けの開門を待つ参拝者



りを求める参拝者で埋め尽くされた。

本殿参拝の後、宗像大神御降臨の地である「高宮祭場」、沖津宮の分霊を祀る「第二宮」、中津宮の分霊を祀る「第三宮」へ参拝する若者や女性の方も多く見受けられた。

四日は日曜が重なり、四日迄初詣参拝は分散化し、会社・団体の仕事始めの参拝が、最も集中したのは五日(月)であった。

十日からの三連休は、スポーツ団体等の新年祈願や企業の成人祭、各地からの初詣バスツアーでの団体参

拝が続き、連休中は概ね天候に恵まれ、境内は晴れ着姿の新人人も加わり華やかだ賑わいをみせた。特に十一日は、もう一度正月が来たような想定を超える賑わいとなった。

正月警備には、本年も宗像市消防団・ふくろう部隊・宗像警察署の御協力を頂き、大きな問題もなく滞り無く正月を終える事が出来た。

新装された本殿で迎えた最初の正月、三箇日は悪天候となるも、その後は好天に恵まれ全般的に大きな崩れとはならず、多くの参拝者で大いに賑わいをみせた。



初日の出



本殿授与所



年越しの大祓式・除夜祭

十二月三十一日

大晦日、午後三時より年越しの大祓式、引き続き一年最後の祭典となる除夜祭が祈願殿において斎行された。

当日は早朝よりの強風が次第に暴

風雨となり、神門前での斎行が不可能と判断、急遽祈願殿においての大祓式となった。このような悪天候の中、この一年間の罪・穢れを祓清め新年を清々しく迎えようと約三百人の参列者が詰め掛け、祈願殿に入りきれない程であった。

当社においては七月と十二月の晦日に大祓式があり、七月を災難消除と豊作を祈る「夏越の大祓式」、そして一年の罪・穢れを祓い清め新年を迎える為十二月の



「師走(年越し)の大祓式」が執り行われている。

定刻午後三時、高向宮司以下神職が祈願殿へ参進、まず宮司が祓

を仰し、葦津権宮司が大祓詞を奏上、続いて奉仕員、参列者各人に配られた「切麻」で自身を祓い、「祓物」に息吹を吹きかけ切り裂き、最後に神職が「大麻」にて天地・人形・罪・穢れを祓い清め大祓式は終了した。

引き続き除夜祭が執り行われ、この一年間の宗像大神の大御恵に感謝申し上げ、ご皇室・国家益々の繁栄、そして氏子崇敬者の幸福を祈り平成二十六年の諸祭儀の全てが滞りなく修められた。

献米奉告祭斎行

新春の一月十三日午前

十一時、氏子会総代・評議員多数の御参列の下、献米奉告祭が斎行され、氏子の皆様から寄せられた新穀を御神前に献上し、昨年秋の収穫を感謝すると共に、今年の五穀豊穣、無病息災を祈った。



祭典では、氏子を代表し

石松茂昭氏が奉幣使として御奉仕された。前日から当大社に斎泊、精進潔斎の上、齋服を着装して祭典に臨まれ、宗像大神の大前で無事に奉幣詞を奏上、見事に大役を果たされた。

祭典終了後



には、氏子会役員を長年お勤めいただいた方(十年以上)の表彰式が行われ、本年は氏子会評議員である、河辺紘氏と小林正義氏の二名に感謝状と記念品が宮司から贈呈され、参列した氏子会関係者から温かい祝福をうけた。その後、清明殿を会場に「鏡開き」が行われ、直会として皆で雑煮・ぜんざいをいただき、新しい一年清々しく過ごす事が出来ると当大社を後にした。

尚、御奉納いただいた献米は、日々の日供祭を始め、諸祭典の神饌としてお供えし、皆様方の安全と繁栄を御祈念致しております、心より御礼申し上げます。

献米奉告祭氏子奉幣使

石松 茂昭氏 (宗像市田熊)

宗像大社氏子会永年勤続者表彰

氏子会評議員

- 河辺 紘氏 (宗像市大島)
- 小林 正義氏 (福津市日蔭野)



献米奉告祭氏子奉幣使 石松 茂昭氏

大島 中津宮の正月

宗像大社中津宮が鎮座する筑前大島は人口約七〇〇人の島であるが、年の瀬が近づくと島外に出た人々の里帰りでその人口が急増し賑わいをみせる。

大晦日午後五時、神門前で年越大祓式、引き続き本殿にて除夜祭が斎行され、平成二十六年の祭儀が滞りなく納められた。



そして午前零時、境内に年明けの号鼓が響き渡り神門が開かれると、初詣参拝者は本殿へと進み新年の祈りを捧げた。

社頭では、正月の縁起物の破魔矢、干支の一刀彫等が授与されると共に、恒例の「中津宮新春福みくじ」が翼賛会の奉仕により行われ、宗像農業協同組合大島支店より特別協賛を賜り、新年の福を授かるうと多くの参拝者が詰め寄せた。また、境内では大島巻網船団の宮地丸組・春日丸水産が寒鰯



を、松田澄江氏からは野菜の御芳志を頂き「開運大鰯大根鍋」が振舞われ、大島ならではの冬の味覚が参拝者・帰省者を温かく迎えた。

午前七時、御神前に島内外からの海の幸・野の幸等が供えられ、元旦祭を斎行。国家安泰と皇室の弥栄、国民の平安が祈念された。

二日、大島では毎年帰省者の多いこの日に、一足早く成人祭が執り行われる。午前十一時、新成人三名をはじめ多くの島民が中津宮へ駆けつけ新成人を温かく祝福した。

それを前後して、三十三歳、四十一歳、四十四歳の

各々に厄除・晴厄の同年講祈願祭も次々に斎行され、境内は旧友と交歓する人々で大いに賑わった。

三日、午前十一時、元始祭併せ宗像漁協大島支所の大漁祈願祭が高向宮司奉仕のもと斎行され、奉賛会・翼賛会々員、漁協役員、漁業従事者が参列し、悠遠の古、元始を偲び、併せて本年初頭の航海安全、漁業繁栄が祈念された。

また、十一日には今年還暦を迎える二十九名の還暦奉養祈願祭が盛大に斎行され、祭典後には樽酒の鏡開きや餅撒きが行われ、島内各所を廻りながら祝酒も振舞われ、島内の人々は還暦を祝福すると共に大いに賑わいをみせた。

中津宮正月祭諸祭典斎行にあたり、多大なる御協力、御協賛を賜りました氏子・崇敬者の皆様に衷心より厚く御礼申し上げます。

御造営奉賛者御芳名 (平成二十六年十二月)(順不同・敬称略)	
福岡市	(株)石村萬盛堂
二〇〇,〇〇〇円	
千代田区	東京大神宮
宗像市	(株)海宴
五〇〇,〇〇〇円	
岡垣町	(株)グラノ24k
三〇〇,〇〇〇円	
久留米市	内山緑地建設(株)
二〇〇,〇〇〇円	
宗像市	花田 孝浩
一〇〇,〇〇〇円	
糸島市	
志々岐神社 宮司	御床 治之
鹿島市	
祐徳稲荷神社 権禰宜	藤川 耕一
那覇市	
波上宮	名譽宮司 末安 大孝
福岡市	(株)福岡魚市場
福岡市	福岡中央魚市場(株)
宮若市	
楠水閣	女将
新宮町	野口 恵子
八〇,〇〇〇円	加野 資典
鞍手町	伊藤 佳和
五〇,〇〇〇円	
福岡市	中島 文博
白井市	望月 幹夫
三島市	
三〇,〇〇〇円	
宮若市	清水 清美
二〇,〇〇〇円	小方 良臣
茨木市	占部 博
一〇,〇〇〇円	
霧島市	城野 佳里
筑後市	田中 晴枝
福岡市	赤間 正和
福岡市	矢永 茄津
福岡市	城野 準次
福岡市	水上 文生
松山市	松尾 幸治
宗像市	滝口登美子
宗像市	恒成 直賢
宗像市	大和田 全彦
朝霞市	西出 真也
朝霞市	西出 真也

修復前



修復後



辺津宮本殿・拝殿全景

時満ちて道ひらく 造営日記 ⑭

『平成ノ大造営』の第一次事業として二年に及んで修復された辺津宮本殿及び拝殿は昨年末、遷座の儀・奉幣の儀を無事に終え、装い新たに平成二十七年を迎えることができました。
今回は、辺津宮本殿の修復前と修復後を写真にてご覧頂きます。



本殿正面



高欄



本殿西側

宗像市

宗像大社氏子会御造営奉賛者御芳名
(平成二十八年十二月)(順不同・敬称略)

- 池田三区上大王寺
大島宮崎区
北野 一廣
永島 昌明
宮本 敏喜

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----------|-------|-------|-------|----------|------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|-------|--------|------|
| 宗像市 | 福岡市 | 福岡市 | 長崎市 | 新宮町 | 熊本市 | 北九州市 | 北九州市 | 岡垣町 | 大分市 | 大分市 | 大分市 | 大分市 | 朝倉市 | 二ツ岡区 | 久留米市 | 北九州市 | 北九州市 | 小山市 | 三ツ岡区 | 川崎市 | 八代市 | 福岡市 | 福岡市 | 福岡市 | 延岡市 | 名古屋市 | 岡山市 | 大分市 | 大分市 | 大分市 | 出雲市 | 五ツ岡区 | 大分市 | 糸島市 | 六ツ岡区 | 福津市 |
| | | | | | | | | | | | | | 矢野 宙之 | 村田貴司・李重貴子 | 猪口 正枝 | 柳瀬 眞弓 | 郷守 達哉 | 山野 エスタジヲ | | | 櫻橋 祐樹 | 橋本 正和 | 塩谷 佳子 | 河野 秀樹 | 井戸 慶弘 | 栗山 芳真 | 青木 紉弘 | 松井 康行 | 堺 隆行 | 堺 隆行 | 日隈 和子 | 岡野 裕子 | 岡野 裕子 | 村瀬 君夫 | 国分浩一・美 | 大住 認 |

むなかたの次世代リーダー養成塾

宗像市内の中学生30名が新聞を作成

1月10日から3日間、宗像市内の中学生30人を対象にした「次世代リーダー養成塾」が昨年続き今年も行われ、5組のグループが其々、新聞を作成し、最終日に発表を行った。尚、優秀作品は西日本新聞(1月28日朝刊予定)に掲載され、当誌には5位の作品を掲載しております。

宗像市とは、九州の北にある人口約9万7千人の市である。海や山、川など自然豊かな環境があり、また世界には有名な神社や歴史も残っています。宗像大社の御祭は、毎年11月に開催され、約10万人が参拝する。また、宗像大社の御祭は、毎年11月に開催され、約10万人が参拝する。また、宗像大社の御祭は、毎年11月に開催され、約10万人が参拝する。



宗像、知っとう??

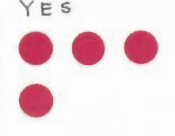
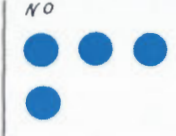
提案!!「宗像コンシェルジュ」



むなかた新聞

3組 (リーダー) 河合 松尾 大城 大野 吉小 松尾 先生

Do you know Munakata?

YES  NO 

4人 4人

こんなにならば、困る外国人

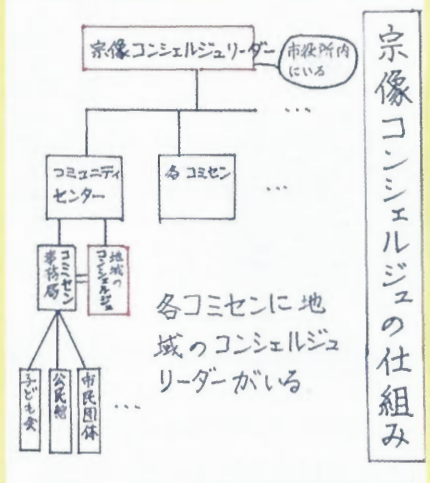
外国人は、日本に来た後、いろいろなことに困ります。例えば、日本語がわからない、交通手段がわからない、生活習慣がわからない、などです。宗像市には、外国人にやさしい環境を作りたいと思います。

日本オンリー!!

私たちがインターネットで調べた情報は、思いがけない面白さや驚きがあります。外国にはない、独自の文化や習慣があります。また、インターネットを通じて、世界中の人々とつながることができます。

外国人にやさしい環境

外国人にやさしい環境を作るには、日本語を学ぶ機会を提供すること、外国人にやさしい生活環境を整えること、外国人にやさしいサービスを提供すること、などが重要です。



日本人だからこそ、

瀬谷ルミ子 JCCP M株式会社取締役

日本人だからこそ、

瀬谷ルミ子 JCCP M株式会社取締役

新・富嶽三十六景と日本文化の素晴らしさ

先生は、アイランド・ブックスの編集者として、日本文化の素晴らしさを多くの人に紹介されています。

ほこりを持って日本人!

ピーター・ジャクソン・詩人・映画作家

先生は、日本人の文化や生活に興味を持って、多くの作品を発表されています。

私達ができること

宗像市には、外国人にやさしい環境を作るための取り組みが数多くあります。宗像市では、外国人にやさしい環境を作るための取り組みが数多くあります。宗像市では、外国人にやさしい環境を作るための取り組みが数多くあります。

宗像コンシェルジュって?

宗像コンシェルジュとは、外国人にやさしい環境を作るための取り組みです。宗像市では、外国人にやさしい環境を作るための取り組みが数多くあります。宗像市では、外国人にやさしい環境を作るための取り組みが数多くあります。

定住者を増やす!!

宗像市には、外国人にやさしい環境を作るための取り組みが数多くあります。宗像市では、外国人にやさしい環境を作るための取り組みが数多くあります。宗像市では、外国人にやさしい環境を作るための取り組みが数多くあります。

(続)

浜の寄物

296

いしただし



今年を終戦から七十周年である。あの巨大戦艦大和が沈没してから七十年である。朝日新聞の八板俊輔氏が定年退職されて、故郷種子島に帰られ、地元で文筆活動されている。昨年夏福岡に来られ、私の家へ立寄り



れたが、その時に、八板氏から種子島に「大和沈没方向」の碑があると伺い機会があれば写真撮って下さいとお願ひしたら、後日「碑」の写真が数枚送ってきた。

碑は種子島西之表市(に)しのおもてし)上之原町にある大和夕暉(ゆうき)が丘平和の塔と呼ばれる丘にある。そこに大和沈没方向という石柱があり、その碑の上部に、丸い穴が穿たれ穴から見える方向が大和沈没の位置になる。水平線にぼんやり細長い島影が見えるこれが鹿毛島である。石柱から一八〇km、東経一二八度四分〇〇秒、北緯三十度四十三分十七秒の海底三四〇mに大和が沈没している。

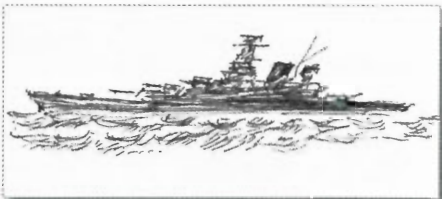
沖繩水上特攻作戦で昭和

二十年四月六日徳山を出撃、戦艦大和、軽巡洋艦矢矧、駆逐艦八隻計十隻が沖繩を目指し、四月七日に米艦載機の攻撃を受け、大和、矢矧と駆逐艦四隻が沈没した。平成十一年(一九九九)、大和沈没の海底に海底探査船が入り調査を行った。

「大和は漆黒の闇の中に、ライトを浴びて突然現れた。ひっくり返った艦尾だ。主舵、スクリューが目に入る。砲頭は一八〇度ひっくり返り、砲身は底に埋もれているのか、姿は見えない(中略)大和の巨大な船体は真二つになっていた。球状艦首(バルバスバウ)のバウのなめらかな曲線に沿って浮上すると、艦首の菊の紋章があった。直径一・五m。当時は金色に輝

いていた紋章のメッキははがれ、貝などがびっしりと付着しているが、それでもなお威厳を感じさせる。」

「潜水艇のアームを使って引き揚げられた遺品は射撃指揮装置の一部や伝声管のほか、士官用のドンブリや酒瓶など計八十一点に及んだ。深査船に同乗した大和元乗組員二人は次々と引き揚げられる遺品を淡々と手に取っていた。二人の顔色が変わったのは、数組の靴底を見たときだった。「胸が詰まるような気持ちです」と言い残して、二人は早々に自室に引き籠った、その日から体調を崩した二人は日程を切り上げて、漁船で現場を離れることになった。「戦艦大和」海底の全容(アサヒグラフ、一九九九年十月、通巻四〇四九号)海底に沈んでいる大和の姿であり、遺骨類



には触られていない。

昨年八月十日付の朝日新聞(夕刊)に大和の黒板」が報じられていた。日南市の民家に保管されていたという。黒板は縦四十cm、横五十cm、裏に筆文字で「軍艦大和・第十九分隊長」の文字、所有者によれば、昭和二十二年(一九四七年)春、共同経営していたカツオ一本釣り漁船が鹿児島島の甕島近くの海面に浮いているものを見つけたものだということ。これを鑑定した呉の大和ミュージアムでは「特攻作戦の前に防火対策を徹底し、可燃物を陸揚げペンキもはがしていた。沈没後海につかっていたとは考えにくいという。「手に入れた人が何らかの理由で海に落とし、それが流れついて回収されたのではないか」とみている。

第六四二回

宗像大社歌会詠草

大西晶子選 毎月25日メット



宗像市 宮田 山本 精子
 丈高く赤きジャンパー犬つれて坂下りくる下月の明
 颯爽と坂を下りてくる若い男性を想像させ爽やかな歌。
 二句は(赤きジャンパーの人)に。三句は(犬をつれ)と
 すると調べが締まる。結句は霜月では？

宗像市 多禮 早川 祥三
 生きている山も空気も手も足も思い切り伸び影冬木立
 言葉が多すぎて、作者の意図が分かり難いので、思い
 切って単純化したい。一例だが(思い切り手足を伸ば
 すように影長くひきををり山の冬木々)。

北九州市 八幡西区 豊田 光子
 戦ひに生きのこりたり報恩講に声なく唱ふ「同期の桜」
 これまでに投稿された歌から従軍看護婦をされていたの
 かと思う作者だが、戦争で生き残ったことを仏様に感謝し
 同僚や行動を共にしていた兵士の冥福を祈られるのだろう。

福津市 星ヶ丘 佐々木和彦
 新雪のつけて乾きし庭へ降りグラウンド・ゴルフの素振りをするなり
 季節感があり、元氣な作者の姿がうかぶ歌。結句は(素
 振りをし居り)とすると臨場感が出る。

福津市 若木台 山崎 公俊
 村社より百の石段下りしところしは不作の柿の木いっぽん
 村社と不作の柿の木がよく合い、晩秋の神社が見えて
 くる。上の句。下の句ともに体言止めなので、結句は(柿
 の木がたつ)と動詞の終止形に。

宗像市 日の里 大和美由紀
 返り咲く桜の花を眺めつつ小春日和の山里歩く
 小春は旧暦の十月あたり、十一月頃。返り咲く桜と、小
 春日和の山里と、調べの良さで気分良く詠まれた歌。

福津市 若木台 野間 精一
 ヒトツバタゴの冬芽は白き刺のごとく細く鋭き光を反す
 ヒトツバタゴは「なんじゃもんじゃ」とも呼ばれる木。
 五月に白い花の咲くときの美しさもだが、この歌から
 冬芽の鋭さも見たくなった。三句は(刺のごと)に。

北九州市 門司区 北野カズミ
 「エロ爺といぢわる婆が長命」と講演ききぬわはいかなる
 鍵括弧内の講演の言葉に考えてしまった作者。ここは
 自分を出さずに結句は(市民大学で)健康相談会(な
 ど)としてみても。

宗像市 池田 森 龍子
 この家の電飾されし庭の樹々いつ眠るのか夜通し照らす
 表には見えないものを詠まれたところがこの歌の良
 いところ。華やかな電飾の陰の、木々の健康を案じる
 作者。

宗像市 田久 巻 桔梗
 看護師に呼ばれたる婦人はこぶねに乗れるひとのごとく瞳をひらく
 病院の待合室の情景、表現に冒険をした作者。しかし
 比喩が適切かどうかは疑問、再考を。三句の平仮名表
 記は、(方舟に)か(は)小舟に(な)のか一読では分かり
 難いので漢字表記に。

◆選者詠
 晴天のきのふ無かりし洗濯物ふる今日はかごに溢るる
 雪消えし花壇にひそと伸びてをりカラスノエンドウ莖やはらかに

俳句作品集

宗像市 多禮 早川 祥三
 霧晴れて虹鱒の朝きらめかせ
 北九州市八幡西区 曾川恵美子
 胴長き小犬「つ」の字に日向ぼこ

2月祭事曆

1・15日	月次祭
午前10時~	高宮祭、第二宮・第三宮祭、宗像護国神社祭(1日)
午前11時~	総社祭
	浦安舞奉奏(1日)
	豊栄舞奉奏(15日)
3日	節分祭
午前11時~	於=本殿 豆打ち式
午前11時30分~	於=齋館前
11日	建国祭
午前11時~	

編集後記

遷座後に迎える初
 めの正月、多くの
 方々に御参拝いただき
 ました。時折、
 小雪の舞う元旦、一時的に
 天気回復し、初日を
 拝することが出来まし
 た。初日を浴び神々しく
 輝く本殿に新しき年
 の祈りを捧げる人々、
 写真や絵で見ると
 素晴らしい光景を目に
 し、眠気も吹飛ばし、
 清々しい心持になれ
 ました。「二年の計は
 元旦にあり」新年に
 良く耳にする言葉で
 はないですが、この
 ような光景を前に平
 成二十七年最高の
 スタートを切れたか
 と思っております。
 皆様方にとりまして
 幸多き一年であります
 ことを祈り申し上げます
 ▼「鬼は外、福は内」
 節分の二月三日は
 豆撒きを...十一時
 から祭典です。多く
 のご参列お待ちしております。
 (鈴)

発行所 宗像大社社務所・宗像会
 住所 千八一一三五〇五
 福岡県宗像市田島三三三
 電話 (〇九四〇)六二一一三二(代)
 発行人 葦津幹之
 編集人 大塚宗延・鈴木祥裕
 制作・印刷 ゼネラルアサヒ
 毎月1日発行
 定価1年送料共 1,000円